

シート防水屋根に太陽光パネルを取り付ける新工法 第一号物件完成

三晃金属工業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：青木栄一）は、シート防水屋根向けの太陽光パネル設置用下地フレーム「ハイタフ®EGソーラーフレーム」が採用された第一号物件が、2025年2月28日に山口県下松市に完工したことをお知らせいたします。（施工：鹿島建設株式会社）

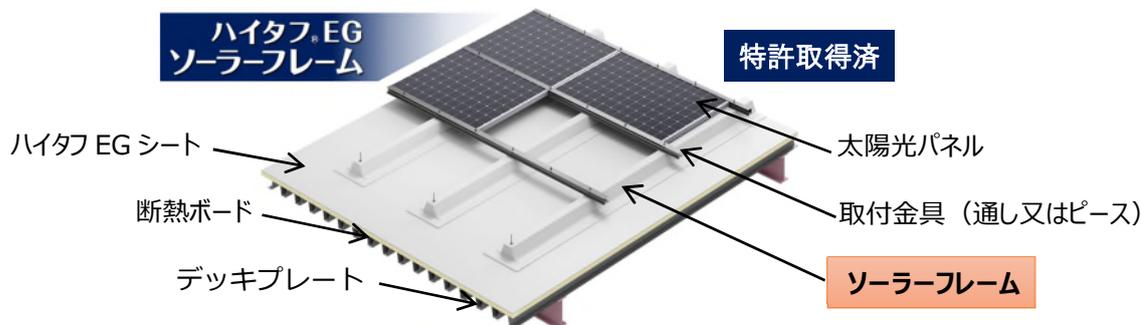
「ハイタフ®EGソーラーフレーム」は、シート防水屋根と同素材のフィルムで被覆された鋼板（ハイタフ®メタル）を加工した「ソーラーフレーム」を専用ビスで固定し、シート防水屋根と熱風融着で一体化することで高強度かつ軽量にソーラーパネルを設置できる新工法で、シート防水層及び断熱ボードをくり抜かないため、漏水リスクが少なく断熱欠損部が発生しません。

従来は、シート防水屋根に太陽光パネルを設置するには「コンクリート置き基礎工法」が主流でしたが、本工法を採用することで、防水性能と断熱性能を損なうことなく軽量（約60%低減）に設置できるようになります。

今後は、鉄骨造建築物の新築・改修を問わず、工場、倉庫、商業施設、競技施設、体育館、事務所、店舗など様々なシート防水屋根に太陽光パネルを設置するニーズにお応えして参ります。



ハイタフEG屋根面積:5,264㎡、ソーラーフレーム長さ:2,876m、太陽光パネル:442kW



【製品情報】 <https://www.sankometal.co.jp/products/list/detail.php?p=609>

三晃金属工業は金属屋根トップメーカーとして、これからも「空と人のあいだに」ある屋根の可能性を追求することで、豊かな未来づくりに貢献してまいります。